

心配？
でもよくわからない??

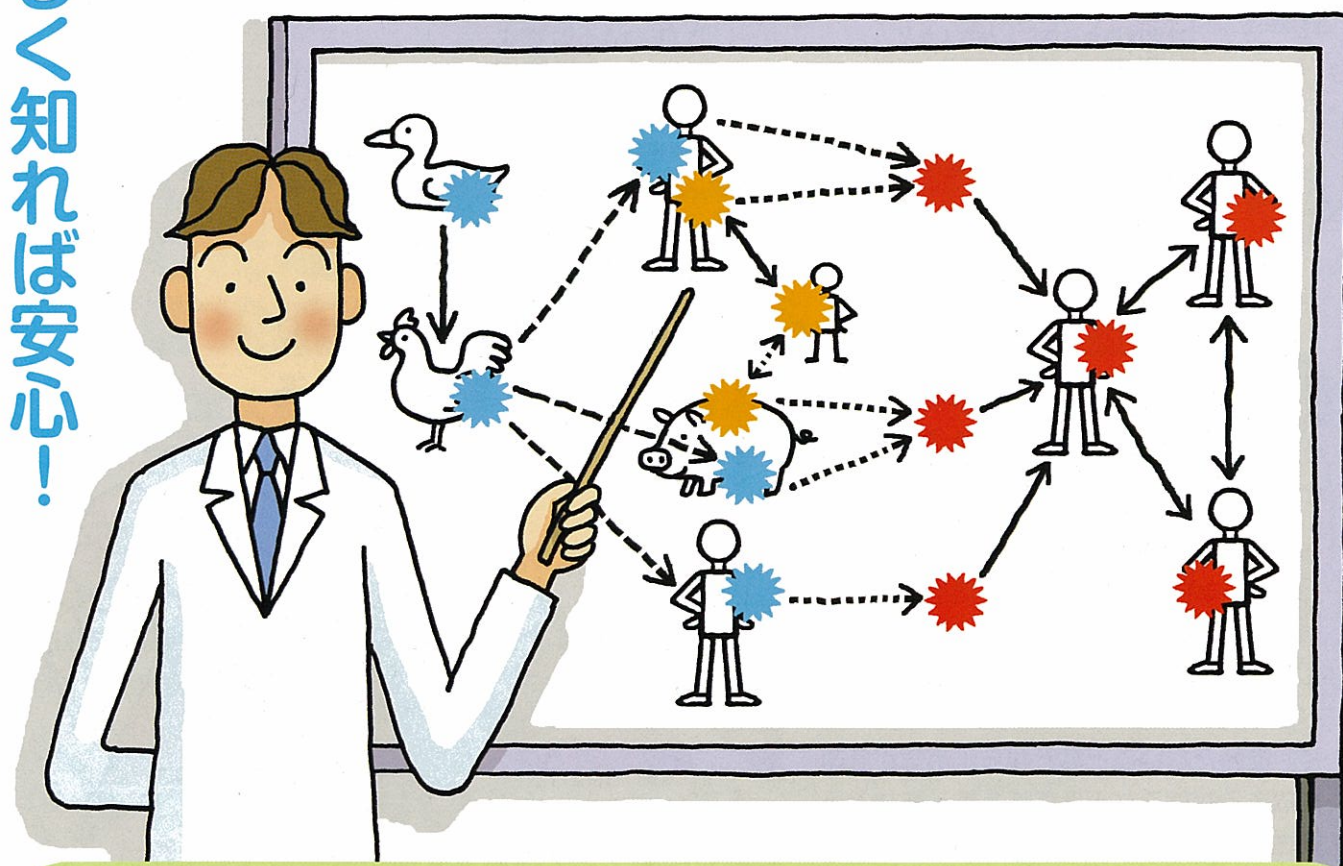
鳥
インフル
エンザ

新型
インフル
エンザ

監修／岡部信彦

〔国立感染症研究所感染症情報センター長〕

正しく知れば安心！

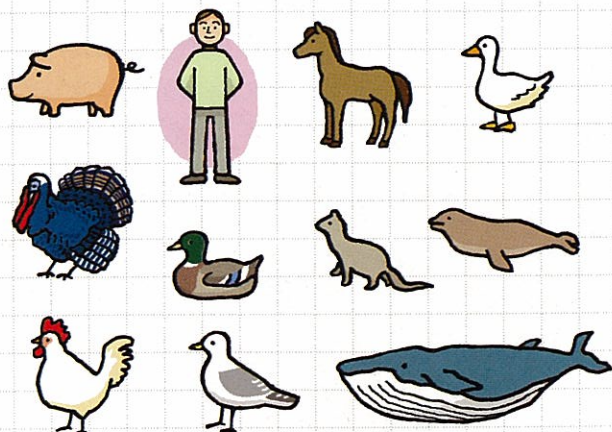


「鳥インフルエンザ」や「新型インフルエンザ」に関する報道が増えています。そのため、「もし、自分がかかったら」と心配する方もいるようですが、そもそも「鳥インフルエンザ」と「新型インフルエンザ」は違うのか、などがハッキリしていない方が多いのではないのでしょうか。

このリーフレットは厚生労働省の資料などをもとに、「鳥インフルエンザ」や「新型インフルエンザ」とは何なのか、なぜ今、問題となっているのかななどをQ & A形式で説明しています。あまたある情報に左右されないためにも、ぜひご一読して理解にお役立てください。

Q 「鳥インフルエンザ」と「新型インフルエンザ」って同じもの？

A 「鳥インフルエンザ」は鳥がかかるインフルエンザで、「新型インフルエンザ」は、人から人にうつりやすく変化した、人にとって新しいタイプのインフルエンザです。



上記はすべてインフルエンザにかかる動物です。
インフルエンザウイルスにもいろいろあり、
通常は鳥から鳥、人から人など、
同じ種にしかうつりません。

現在問題となっている「鳥インフルエンザ」とは、鳥がかかるインフルエンザです。ごくまれに羽やフンを吸いこんだ人に感染することがあります。ただし鳥インフルエンザの感染者から他の人にうつることはまずありません。

それに対し「新型インフルエンザ」は、鳥インフルエンザウイルスなど、ほかの動物のインフルエンザウイルスが人から人にうつる性質に変化（変異）し、人にとって新しいインフルエンザウイルスができることで、通常の人インフルエンザ同様に人間社会で感染が広がると考えられるものです。

現在、鳥インフルエンザの発生状況などから、この鳥インフルエンザウイルスが人にとって新型のインフルエンザウイルスに変化する可能性があり得ると考えられ、世界中で警戒されているのです。

Q なぜ、新型インフルエンザはこんなに警戒されているの？

A 新型インフルエンザウイルスが出現した場合、過去の例などから、人類に大きな被害が出る可能性があるためです。

新型インフルエンザの発生は、人類にとって今回が初めてではなく、20世紀中にも、10年～40年の周期で何度か発生・流行しています（右表参照）。新型インフルエンザがもし発生した場合、基本的にすべての人はそのウイルスに対して抵抗力（免疫）を持たないことなどから、病気が急速に広まるだけでなく、症状も重症になる可能性があります。

当時と現在では栄養状態や環境、衛生状態などが異なり、また新型インフルエンザウイルスが誕生したとしても、どの程度の毒性を持っているかは不明ですので、どの程度の被害が生じるかは確定できませんが、被害を少しでも減らすために現在対策が練られ、またそれについての報道も増えているのです。



過去の新型インフルエンザによる被害（全世界）

呼び名	主な流行時期	推定死亡者数
スペインかぜ	1918年（大正7年）－1919年	4000万人以上
アジアかぜ	1957年（昭和32年）－1958年	200万人以上
香港かぜ	1968年（昭和43年）－1969年	100万人以上

世界保健機関（WHO）資料をもとに作成

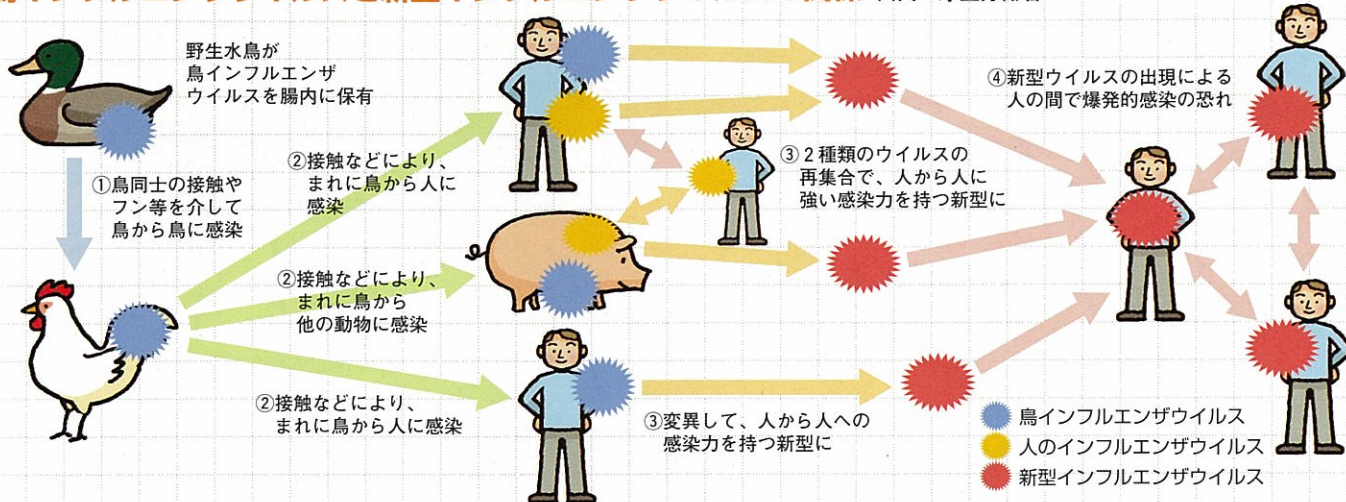
Q

「鳥インフルエンザウイルス」が
「新型インフルエンザウイルス」に
変わるメカニズムは？

A

下の図のような経路で鳥や人、またはブタや人の体内でウイルスが変異すると考えられています。

鳥インフルエンザウイルスと新型インフルエンザウイルスの関係 出典：厚生労働省



Q

もし新型インフルエンザが流行
した場合、どのくらいの人
が感染する可能性があるの？

A

日本人の4人に1人が感染する
可能性があるとされています。

実際にどうなるかについては誰も答えられませんが、米国疾病管理センターが作った計算式に当てはめると、日本人の4人に1人が感染し、医療機関を受診する患者は最大で2500万人と推定されています。
(2004年から2005年のインフルエンザシーズンでは1800万人が感染したと推定されています)



Q

何か対策は立てられているの？

A

新型インフルエンザ発生に備え、国、自治体で準備が
進められています。

厚生労働省では平成17年10月に、国民への正確な情報の提供、予防や治療など、その進行状況に応じた対策を総合的に推進するため「新型インフルエンザ対策推進本部」を設置しています。同時に「新型インフルエンザ対策行動計画※」を策定し、国、そして自治体で新型インフルエンザの発生状況に合わせた具体的な対策を講じることとしています。

※厚生労働省ホームページ（4ページ参照）で見ることができます。

なぜ鳥のインフルエンザウイルスから新型インフルエンザウイルスができるの？

Q

新型インフルエンザの予防方法は？

A

新型インフルエンザワクチンを作る方法は開発が進んでいますが、ほかには通常のインフルエンザと同じ予防方法が重要です。

新型インフルエンザウイルスは突然空などからふってくることはありませんので、発生したとしても流行地に行かなければ感染の危険はありません。もし、身近な地域まで流行が広まった場合は、外出後の手洗いとうがい、マスクの着用、人混みに行かない、十分に休養とバランスのよい食事をとって体力や抵抗力を高めておくことが、通常のインフルエンザ同様、個人個人にとって重要な予防策になります。

現在のインフルエンザワクチンは新型インフルエンザには対応していないので、予防効果はありません。



Q

新型インフルエンザの治療法はあるの？

A

抗インフルエンザウイルス薬が有効と考えられています。



インフルエンザの治療に使われている抗インフルエンザウイルス薬（リン酸オセルタミビル：商品名タミフルなど）が有効と考えられ、現在、国内で備蓄が推進されています。ただし薬ですので副作用などにも注意をする必要があり、服用には医師の指示（処方）がいります。

新型インフルエンザなどの情報は、厚生労働省などのホームページで掲載され、状況に合わせて随時更新される予定です。
不安な時は正しい情報を得て、無用な混乱に巻き込まれないようにしましょう。



新型インフルエンザに関するホームページアドレス

- 厚生労働省 ● <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou04/index.html>
- 国立感染症研究所感染症情報センター ● <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>